



令和8年1月14日
四国地方整備局

同時発表：高松経済記者クラブ
愛媛番町記者クラブ

第2回「四国クルーズ会議」を開催します

四国地方整備局は、四国へのクルーズ船等の更なる寄港拡大による地域振興を目指し、昨年度に引き続き、クルーズ船の誘致を担当する行政や観光団体が一堂に介する「四国クルーズ会議」を、1月20日（火）、愛媛県今治市において開催します。

クルーズ船社等からの招聘者による講演や意見交換を通じ、四国地域の観光コンテンツの磨き上げやクルーズ船等受入の各種課題、課題解決に向けた取組に係る認識を共有し、クルーズ船等の寄港増加を目指します。

※四国地方整備局では、クルーズ船等の受入に必要なハード整備及びクルーズ誘致に必要なソフト対策に支援を行うなど、受入自治体とともにクルーズ船等の寄港促進に取り組んでおり、その結果2025年のクルーズ船寄港回数は、過去最高の189回（速報値）となりました。（別紙1）

1. 主 催 : 四国地方整備局
2. 開催日時 : 令和8年1月20日（火）10:00～15:50（受付 9:30～）
3. 会 場 : 今治地域地場産業振興センター4階（愛媛県今治市旭町二丁目3番地5）
4. 内 容
 - 1) 主催者挨拶 四国地方整備局 港湾空港部長 浅見 尚史
 - 2) 情報提供 四国地方整備局 港湾空港部長 浅見 尚史
 - 3) 特別講演① 講師：商船三井クルーズ株式会社 営業戦略部コマーシャルグループ 伊藤 裕美
 - 4) 特別講演② 講師：Rヨット株式会社 営業企画部 久保田 孝一
 - 5) 特別講演③ 講師：バイキングクルーズ・ジャパン 児島 得正
 - 6) 特別講演④ 講師：株式会社JTB グローバルマーケティング&トラベル クルーズ営業部 藤田 宗則
 - 7) 特別講演⑤ 講師：株式会社リライフ ブルー・オーシャン・エージェンシー 事業開発部 濱屋 大地
 - 8) 招聘者と参加自治体等との意見交換会
以上 敬称略
講師プロフィール（別紙2）
5. 取材要領 : 会議の傍聴・撮影が可能です。（報道関係者以外の方は傍聴できません）
1月16日（金）正午までに別紙3「取材申込書」にて申し込みください。

【問合せ先】

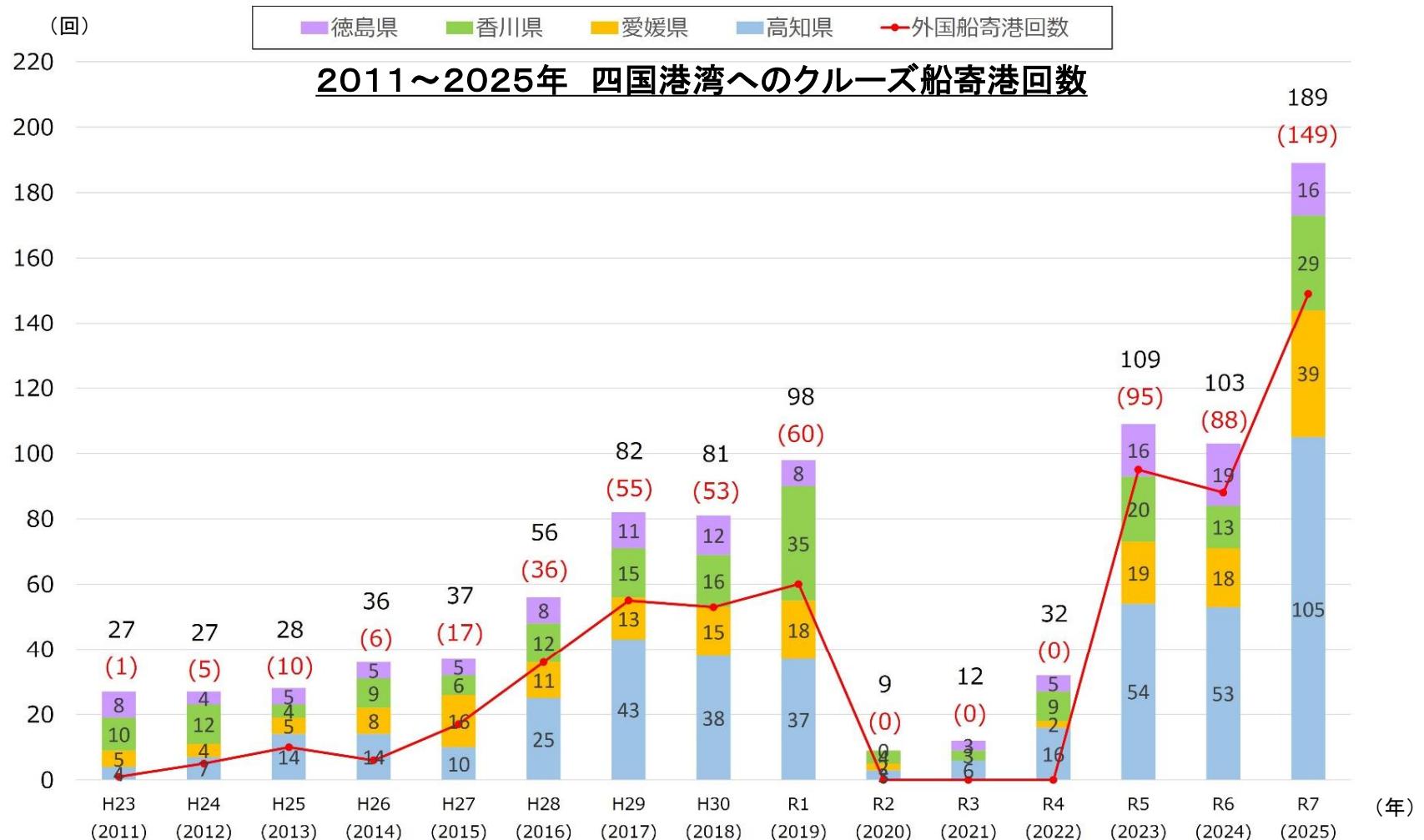
国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室 TEL 087-811-8360 【直通】

室 長 岡崎 裕

○課長補佐 高木 裕子 ○：主な問合せ先

四国港湾へのクルーズ船寄港回数について

- 四国の港湾へのクルーズ船の寄港は2016年頃より急増し、2019年に過去最高の98回を記録。
- 新型コロナの影響により、2020年以降落ち込んだが、日本船社の運航再開後2022年には32回まで回復。
- 国際クルーズが再開した2023年以降、四国港湾へのクルーズ船寄港回数は、コロナ前を超える100回以上を記録。
- 2025年は寄港回数が189回(速報値)となっており、邦船・外国船ともに大幅に増加。



※()内数字は外国船寄港回数

出典：港湾管理者への聞き取りを基に四国地方整備局港湾空港部作成

※株式会社せとうちクルーズが運航する「ガンツウ」を除く

※R7 (2025) は速報値

講演者 プロフィール(敬称略)

伊藤 裕美

商船三井クルーズ株式会社
営業戦略部 コマーシャルグループ

2011年商船三井グループ エムオーツーリストに入社。クルーズデスクに配属。主に日本3船を中心に販売。お客様対応、関連企業へ営業や販促を行ってきた。

2023年より商船三井客船へ出向。現在、造成グループとして、航路やクルーズに付加価値・魅力付けを行っている。

久保田 孝一

Rヨット株式会社
営業企画部

1998年に就航したぱしふいっく びいなすの営業に約25年携わる。その後、北海道にある関連会社のホテル営業を担い、2025年4月からRヨットの新規事業に参画。現在は商品企画を担当し、大型船では寄港できない、魅力ある寄港地を開拓し、唯一無二のクルーズをお届けする準備を進めている。

児島 得正

バイキングクルーズ・ジャパン
ポートオペレーション・ディレクター

1990年、客船「ソングオブフラワー」の販売総代理店入社。その後、株式会社クルーズバケーションにて販売代理店業務、2012年からは、株式会社カニバルジャパンにて、日本法人立ち上げに従事。

2023年よりVIKINGの日本進出に際して事業計画やクルーズスケジュールの策定を担当、2024年11月以降の全クルーズスケジュールを作成。現職。

藤田 宗則

株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル
クルーズ営業部 部長

2020年からクルーズのランドオペレーター業務を開始。海外クルーズ船社を中心に、さまざまな業務に従事。大型カジュアル船から小型高級船、小型探検船まで寄港地観光、乗下船、ランドプログラムまで幅広く担当している。

濱屋 大地

株式会社リライフ ブルー・オーシャン・エージェンシー
事業開発部 部長

総代理店Wilhelmsen Port Servicesにて客船をメインに担当。コロナ禍のDiamond Princess 緊急対策チームに社の代表とし参加。2024年1月横浜・東京の客船代理店であるBlue Ocean Agencyを立ち上げる。

四国地方整備局

クルーズ振興・港湾物流企画室 宛

メール: pa.skr-cruise@gxb.mlit.go.jp

第2回 四国クルーズ会議 取材申込書

貴社名 : _____

連絡先 : TEL _____

(代表者の連絡先) ※取材当日に連絡可能な携帯電話等の連絡先を記入してください。
 取材当日に変更等が生じた場合に連絡させていただきます。

取材者氏名 1) (代表者) _____

 2) _____

 3) _____

令和8年1月16日（金）12時までに

メール 送信をお願い致します。

※傍聴者数によっては、お席を用意できない場合もありますので予めご了承下さい。

会場のご案内

